

日本の宗教はどう変わっているか

How is Japan's Religion Changing?

棟田ケツズ Kez Muneta

82-372: Advanced Japanese II

1. はじめに

昔から、日本の宗教はよく変わってきたものだ。本来の神道、中国から来た仏教、そして西洋のキリスト教に日本の文化や社会が変更された。しかし、現代にも変更が出ているかどうか分からない。アメリカ人は日本の宗教のことがあまり分からなくて、私にも分からない点が多い。例えば、日本は他の国のようにもっと無神論的になっているかということが知りたい。そして、日本の社会的な変更を宗教の変更で表せると思うので、このトピックを選んだ。現代というのは、明治時代からの期間にするつもりだ。今の暫定的な結論は、日本人の多くは神のような力があると思っているので、日本が無神論的になっているわけではない。しかし、明治時代と比べると、現代の日本には無神論者の数が増えたということと他の変更があるようだ。

2. 1 キリスト教の影響は何か

キリスト教は全世界によく知られているが、日本にはキリスト教の影響が強いのか。ラ

イテイングアシスタントの田辺さんによると、キリスト教は歴史的に大切だったが、ちょっと違って来た。日本のキリスト教の信者は2%しかいないそうだ。今の日本では、クリスマスがよく祝われている。しかし、それはただのプレゼントの交換だけで、イエスについての宗教的なことが少ない。恋人と一緒に時間を過ごしたり友達と一緒にパーティーに行ったりすることも人気があるそうだ。一人ならかわいそうだそうだ。アメリカは日本とそんなに違うとは思わない。全員のアメリカ人はキリスト教の信者ではないが、クリスマスを祝うことが多い。無神論者などは宗教のような部分を無視してプレゼントの交換や家族と時間を過ごすことしかしない。しかし、日本にもアメリカにも影響がないわけではない。日本ゲストの大迫さんによると、クリスマスの他には、キリスト教の結婚式は日本に人気がある。キリスト教の結婚式の白いドレスや教会での行事は全世界によく知られているので、そういうことが日本で結婚式のイメージになった。だから、日本の女性は神道と仏教の結婚式よりキリスト教のほうが好きだそうだ。田辺さんは日本の結婚式がキリスト教っぽいと言った。それから、バレンタインデーは本来キリスト教のことだったので、キリスト教の影響だ。

2.2 日本の本当の宗教は何か

田辺さんによると、一般的な日本人に日本の宗教は何かと聞いたら、その日本人はたぶん困って答えない。答えたら、何もないと答える。日本の宗教はあまり定義されていないので、この答えは複雑だと思う。日本には神道も仏教もキリスト教の影響があるので、どれが一番大切なのかということは答えにくい。神道と仏教はキリスト教より古いの

で、たぶん日本人に懐かしくて文化の大切さがあるようだ。田辺さんの意見では、日本の宗教が組織されていないので、この質問が難しい。

2.3 神道は今どんな意味があるか

神道は日本の本来の宗教だが、今の日本人はこの古い習慣についてどう思うのか。田辺さんによると、仏教と神道を区別していない人が多い。私はこの点にはちょっとびっくりした。神道が日本人に文化のことか宗教のことかで見られているか分からない。私には、たぶん両方だと思う。田部さんは日本人には初詣などの行事の他には神道に関する意味はあまりない。日本ゲストの深澤さんによると、第二次世界大戦争の後で日本人は神道に対しての態度はちょっと悪くなった。日本の軍隊は神道を利用したので、よくない連関が起こった。今は、いいと悪いことが混在しているようだ。

2.4 日本の宗教とアメリカの宗教はどんな関係があるか

アメリカの宗教は大体キリスト教の宗派だ。プロテスタントとカトリックという宗派が一番大切だ。ユダヤ教、イスラム教、仏教などの宗教は信者が少ない。しかし、アメリカの人口の5分の1は無神論者だ。政治家はすごく宗教的なので、政治と宗教の関係が強い。田辺さんによると、多くの日本人にアメリカの宗教の有名な習慣がよく知られている。例えば、日曜日に教会に行く主日という習慣（英語：Sabbath）。しかし、日本人は一般的にその習慣の意味が分からない。大迫さんによると、日本人はアメリカの宗教がまじめでしっかりだと思っている。日本には、アメリカ人のキリスト教徒のように

毎週教会や神社などに行く人が少ないそうだ。田部さんの言葉では、アメリカの宗教がもっとストリクトだ。そして、日本では宗教を本当に信じている人が少ないそうだ。日本ゲストの鳥谷部さんによると、アメリカにはこういうすべきだと言っている人がない。そして、宗教がタブーとは思わない人が多い。

2.5 日本は無神論的になっているのか

田辺さんによると、現代には神の存在を信じている人が多いので、無神論の国なわけではない。しかし、神ということは人によって違う。神道の神はキリスト教の神とよく違う。しかし、多くの日本人は人間を超えた力を信じている。しかし、田辺さんは本当にそういうことかどうか分からないと言った。深澤さんによると、試験などの前に神社に行ってお願ひする人が多いので、日本は無神論の国ではない。実は、神道も仏教もキリスト教も祈られているので、無神論の反対の国だと言った。鳥谷部さんは、宗教を信じていない人の数が増えていると思っている。しかし、その現象は大体若い人々だそうだ。田辺さんの意見では、人によって違う答えがある。社会としてあまり変わっていないと言った。しかし、キリスト教徒の数が増えているか。田部さんは、外国人が日本に来ているちょっと統計に影響しているが、日本人の中なら増えていないと言った。田部さんのよると去年キリスト教徒の数がちょっと減ったらしい。

終わりに

今の日本は明治時代の最初からよく変わってきたということが当たり前だ。キリスト教は日本に影響があるが、宗教的ではない。神道も一般に宗教のことではなくて文化の行

事だけだ。しかし、キリスト教徒も神道を宗教的に祈っている人が日本にいたので、まったく無神論の国ではない。このグラフによると、日本は中国ほど無神論的ではないが、韓国よりキリスト教を信じていない人が多い。なぜかという、日本の特別な歴史だと思う。

隣国のキリスト教徒の人口							
	人口(万人)	基督教	神道	仏教	道教/仏教	無神	その他
日本	1億2800	2%	89%	71%			7%
韓国	4900	29%		22%		7%	1%
中国	13億4000	3%			2%	93%	2%
台湾	2300	4%			93%	3%	

私は宗教が国と国民をどう影響するか分からない。もちろん、文化の部分だが、時間が経つともう宗教的であるかどうか分からない。アメリカでは、無神論の考え方がゆっくりともっと人気があるようになってきていると思う。しかし、キリスト教はすごい影響がある。アメリカの政府は宗教とよく繋がっている。50%以上のアメリカ人は無神論の大統領に投票しないという統計がある。日本は違う機会があるので、何の未来があるか知りたい。今からの未来の100年にはすごい変更が起こると思う。日本の宗教の状態は複雑でも、大変ではなさそうだ。

参考文献

トピックによる日本語総合演習 (2001)

グラフ

<http://blog.goo.ne.jp/queensland2522/e/cd2ddd3b51b6358f121d6825a1663af1>